

奈良県指定文化財調査票

調査日	2020 年	12 月	12 日	記入者	神野一美	
調査者名	石井	亀田	神野	鈴木	東辻	前田

文化財名	龍門寺塔跡					
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 史跡	<input type="checkbox"/> 名勝	<input type="checkbox"/> 天然記念物	<input type="checkbox"/> 有形民俗文化財	<input type="checkbox"/> その他 ()	
指定年月日	1954年(昭和29)3月2日					
所在地	吉野郡吉野町山口					
所有者 管理者	国					
員数						
時代区分	奈良時代					
樹木の場合	(樹木名)			(樹齢)		
案内板の状況	あり(県教育委員会の説明板設置)					
公開	常時公開					
保存状態	<input type="checkbox"/> 非常に良い	<input type="checkbox"/> 良い	<input type="checkbox"/> 普通	<input checked="" type="checkbox"/> 悪い	<input type="checkbox"/> 非常に悪い	
	補足 ()					
当面の課題	自然の中にそのままあるので、一見荒廃しているように見える。しかし、塔跡や建物跡のある場所では、杉の木も伐採されていたり雑草も刈られているため、特に問題はないと思われる。ただし、県教育委員会の説明板に指定年月日の記載がないため、記載が必要。					
今後の課題	塔跡や宿坊跡は入りやすくなっているが、六角堂跡や本堂跡にいたっては道さえもなく、山肌をよじ登っていくようなものである。竜門岳の登山道沿いにもあるので、その行き帰りにでもフラッと立ち寄れるような整備が望まれる。史跡内にある塔心礎や建物跡の入口に簡単な標記の石柱があるが、該当場所に行かないと分からない。該当場所に案内板の設置や道の整備を望む。					
その他 (由緒など)	龍門寺は、義淵僧正の建立といわれる奈良時代に始まる大寺院であったが、応仁の乱の影響で衰退し、廃寺となる。龍門の滝の上には、塔跡・基壇が完全に残る。基壇の一辺は6.3m、塔の一辺は3.3m、心礎はきれいに残っている。塔跡の基壇の周囲では、奈良時代のもとの想像される瓦が見られた。なお、塔跡への道の途中には元弘三年(鎌倉末期1333年)の銘のある下乗石(げじょういし)があり重要美術品である。					
コメント	現地周辺は、吉野町の森林セラピーロード「神仙峡 龍門の里コース」になっており、その一番北側に龍門の滝がある。そこでは仙人も修行したといわれ、久米寺で有名な久米仙人の窟跡といわれる場所もある。清和上皇、宇多上皇、菅原道真、藤原道長などの殿上人が参詣したこともあるようだ。神仙境と称されるように、仙人も殿上人をも引き付ける魅力のある場所である。					

奈良県指定文化財調査票(写真)

調査日	2020 年	12 月	12 日	記入者	神野一美	
調査者名	石井	亀田	神野	鈴木	東辻	前田

文化財名	龍門寺塔跡
------	-------

奈良県の説明板



側面に龍門寺と彫られた下乗石(げじょういし)



塔跡と基壇



塔の心礎



奈良時代の瓦？



宿坊跡

